

2023 年度第 2 回 鋼橋の長寿命化対策に関する講演会



認定番号 JACE24-0056

主催：鋼橋の長寿命化に対するインハウスエンジニアの技術向上に関する調査研究委員会

共催：公益社団法人土木学会関西支部

2012 年の笹子トンネルの事故等を契機として 2014 年から 5 年毎の近接目視点検が義務化され、点検員の資格問題など質の問題は残っていますが、点検数量的にはある程度のレベルまでクリアされました。現在は点検が 2 巡目に入っていますが、次の段階でより重要な措置が、予算の制約と特に中小自治体の技術者不足からなかなか進まない状況に陥っています。点検員の質に関しては、様々な資格制度が認定されて改善に向かっていますが、予算と技術者（力）不足は深刻です。特に鋼橋に関しては、当て板等比較的小規模な補修や補強で済むケースが多く、受注者にとっては大規模な架け替え等に比べて旨味は少ないですが、予算の制約が厳しい管理者にとってはメリットが大きいと考えられます。そのためには、鋼橋の補修・補強設計等の長寿命化対策を適切に発注できるようなインハウスエンジニアの技術力が必要になります。

本委員会は、鉄道事業者や道路管理者、コンサルタント、施工業者、大学の研究者、弁護士等で構成し、鋼橋の長寿命化に対するインハウスエンジニアの技術力向上に関する調査研究を行っております。

このたび、その活動の一環として、下記のとおり講演会を開催したいと存じます。奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

● 日 時：2024 年 3 月 15 日（金）13:30～16:50

開場 13:15～

【現地開催】

● 会 場：ドーンセンター 4階 大会議室 1

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1 丁目 3 番 49 号

Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約 350m

● 定 員：50 名

【オンライン開催】

● 『Zoom』によるライブ配信となります

動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします

● 参 加 費：無料

● 申込方法：下記 URL からお申し込みください。

URL <http://betch.in.coocan.jp/kmk/>

【申込み先ホームページ】

※ 現地開催へご参加の方へは、申し込み締め切り後に「参加申込受付」が電子メールで送付されます。

これが参加証となりますので、印刷して当日ご持参ください。

※ オンライン開催へご参加の方へは、申し込み締め切り後にアクセス用 URL が電子メールで届きますので、こちらから接続してください。

※メールアドレスの入力ミスには、くれぐれもご注意ください。（上記案内が届きません）

※ CPD 制度：土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

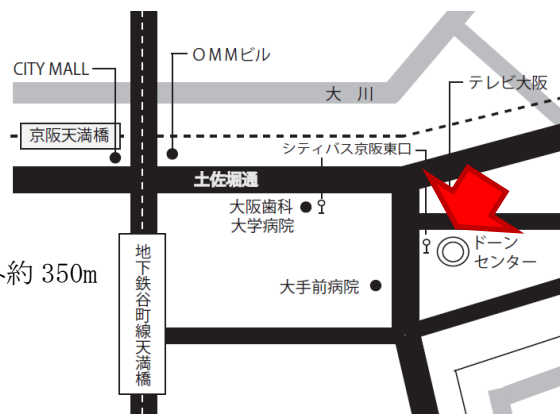
他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

● 申込締切：2024 年 2 月 22 日（木） ※定員に達し次第申込を締め切ります。

定員に余裕がある場合は締切後も引き続き申込を受け付けます。

● 資 料：講習会では資料の配布は行いません。（資料がある場合は 3 月上旬に掲載予定です）

資料は、申し込み締め切り後に届くメールに記載の URL からダウンロードしご持参ください。



● プログラム

2023 年度第 2 回 鋼橋の長寿命化対策に関する講演会

司会：調査研究委員会幹事 田辺 篤史（日建設計シビル）

- 13：30－13：40（10分）開会の挨拶
委員長 鈴木 啓悟（福井大学）
- 13：40－14：40（60分）
・テクノロジーの力で社会的課題に挑む
首都高速道路技術センター上席研究員 高木 千太郎
- 14：40－14：50（休憩 10分）
- 14：50－15：50（60分）
・持続可能社会へのインフラ・マネジメント（～技術・しくみ・ヒト～）
富山市政策参与 植野 芳彦
- 15：50－16：05（休憩 15分）
- 16：05－16：45（40分）
・インハウスエンジニアリングの技術力向上について（パネルディスカッション）
（パネラー） 首都高速道路技術センター 高木 千太郎
富山市政策参与 植野 芳彦
南海電気鉄道㈱ 小出 泰弘
大阪府都市整備推進センター 富山 久男
（コーディネーター） NPO 橋守支援センター 坂野 昌弘
- 16：45－16：50（5分）閉会の挨拶
幹事長 小出 泰弘（南海電気鉄道㈱）

※ プログラムは一部変更する場合があります。
本講演会は、土木学会認定 CPD プログラム(2.7 単位)です。